

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001351010 維持管理課道水路管理係

事務事業 02762 道水路管理事務

電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	006	安全な住環境対策			
事務事業	001	道水路管理事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路法、安城市法定外公共物の管理に関する条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路管理事務 ・不法占用処理事務 ・水路管理事務 ・道路台帳管理事務				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道水路、橋りょう等の占用及び承認工事の許認可に関すること、道水路の用地に関すること、屋外広告物に関すること、狭あい道路拡幅事業に関すること、道路台帳管理等の事務処理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	109,633	113,403	122,096
	国庫支出金	56,033	55,003	63,696
	県支出金	4,658	4,925	4,500
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	58	65	24
	人件費計	51,317	50,013	59,172
	正規（人）	53,600	58,400	58,400
		8.00	8.00	8.00
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、道水路の用途廃止、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、道水路の用途廃止、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、道水路の用途廃止、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351010 維持管理課道水路管理係
事務事業 02762 道水路管理事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	道水路の管理者として必要な事務です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	道水路の管理者として必要な事務で多くのニーズがあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	道水路の管理者として適正な事務です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	本事業は、道路管理者として行うべき必要な事業です。今後も適正な事務処理を行っていく必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02763 放置自転車対策事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	002	1 3 住環境			
施策の取組	006	安全な住環境対策			
事務事業	002	放置自転車対策事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市自転車等の放置防止に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	駅前広場、道路等を通行する人が
目的	安全で良好な通行機能を確保できるようになります。
手段	自転車等の放置禁止区域において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持します。
事務内容	放置自転車撤去・告示・処分、放置自転車台帳作成、放置自転車防犯登録照会、引取通知書発送、リサイクル自転車業務、放置自転車実態調査、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		24,186	26,638	28,442
事業費		15,476	17,148	18,952
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	17	56	40
	一般財源	15,459	17,092	18,912
人件費計		8,710	9,490	9,490
	正規（人）	1.30	1.30	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（10箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（10箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（10箇所）

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02763 放置自転車対策事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
通行機能阻害による苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
放置自転車移動台数	台	0.00	150.00	150.00
		79.00	116.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1	
	2		国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある				
	3		国・県・民間等が同様のサービスを行っている				
理由		市が条例に基づき実施しています。					
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1	
	2		社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している				
	3		市民ニーズはない又は不明である				
理由		放置自転車の移動台数は継続してあります。					
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1	
	2		目標を下回る進捗状況である				
	3		進捗はかなり遅れている				
理由		目標に対し、概ね順調に進捗しています。					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2	
	2		事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる				
	3		事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない				
理由		移動台数が一定量あるため、業務の効率化に努めます。					
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1	
	2		環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。				
	3		環境変化や他自治体等と比較して適正でない。				
理由		他市も放置禁止区域を条例で定めています。					

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	自転車等放置禁止区域内の公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、もって市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持することができました。放置自転車は継続して一定量あることから、少数の放置自転車が多数の放置自転車を誘発するため、引き続き事業を継続する必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業 電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	006	駅施設管理事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	駅施設及び駅前広場の利用者が
目的	安心・快適に利用できるようになります。
手段	鉄道利用する通勤者等を始め、駅施設及び駅前広場の通行者が、安心・快適に利用できるよう施設設備等を維持管理します。
事務内容	安城駅前デッキ等の駅関連施設の保守管理清掃、タクシープールの水道料金の請求、安城駅前デッキ・三河安城駅連絡通路・新安城駅自由通路の使用許可、施設修繕

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		84,830	108,742	261,849
事業費		76,790	99,982	253,089
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	9	7	20
	一般財源	76,781	99,975	253,069
人件費計		8,040	8,760	8,760
	正規（人）	1.20	1.20	1.20
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃、駅前トイレの清掃駅前広場樹木草花の管理	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃、駅前トイレの清掃駅前広場樹木草花の管理、三河安城駅前広場等設計業務委託	安城駅前デッキ、三河安城駅連絡通路、新安城駅自由通路の管理清掃、駅前トイレの清掃駅前広場樹木草花の管理、三河安城駅前広場補修等工事、三河安城駅連絡通路及び自由通路劣化調査業務委託

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁

令和 8年 8月12日
15時36分52秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02764 駅施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
駅関連施設の管理瑕疵による事故件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
駅関連施設での事故、負傷件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	市が所有する施設のため維持管理を行います。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	多くの駅利用者や駅前広場の通行者が利用する施設です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標どおりの進捗でした。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	施設の修繕にあたり費用削減に努めます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	駅施設を保全するため適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	J R、名鉄の駅前広場や通路の清掃並びに植栽、昇降施設、公衆トイレ等の維持管理を行い、鉄道を利用する通勤者等を始め、駅施設や駅前広場の利用者が安心して快適に通行・利用できるよう、引き続き施設等の維持管理を継続する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	007	自動車・自転車有料駐車場事業			
事業期間	昭和48年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	安城市有料駐車場の設置及び管理に関する条例				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・自動車駐車場運営事業 ・自転車駐車場運営事業				

【事業分析】

対象	鉄道利用の通勤通学等の駐車場利用者が
目的	便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようになります。
手段	環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を推進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行います。
事務内容	月報報告、収入管理、指定管理者連絡調整会議、年度協定締結、事業計画書作成、決算事務、公営企業決算状況調査、施設修繕

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		194,733	115,941	205,043
事業費	事業費	186,023	106,451	195,553
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	186,023	106,451	195,553
	人件費計	8,710	9,490	9,490
	正規（人）	1.30	1.30	1.30
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	収容台数 1,231 台 指定管理委託 キャッシュレス決済・ 新紙幣対応修繕 精算機等更新	収容台数 1,231 台 指定管理委託	収容台数 1,231 台 指定管理委託 精算機等更新

事務事業評価シート（2 / 2）

6 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 36 分 52 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
有料駐車場の管理瑕疵による事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
有料駐車場利用率	%	0.00	90.00	90.00
		97.70	99.80	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	駅周辺の駐車場需要を満たすため、市で補完する必要があります。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	利用台数は前年度と比べ増加しており、ニーズは充分にあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	目標どおりの進捗でした。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	指定管理者制度を導入しています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	他市と比較して料金設定は適正です。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	鉄道利用の通勤者等が、便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるよう、駅周辺を中心とした駐車場の管理運営を行う必要があります。また、市民ニーズは充分にあるため、今後とも利用者が便利で安心して駐車場を利用できるよう、適切な駐車場の管理運営を行う必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	008	有料駐車場事業消費税事務			
事業期間	平成12年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	消費税法				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場の使用料収入に関して、消費税法に基づき申告・納付を行います。 ・課税売上と課税支出の見込みの検討 ・消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		14,203	5,730	19,630
事業費	事業費	13,533	5,000	18,900
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,533	5,000	18,900
	人件費計	670	730	730
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告	確定申告 中間申告

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	消費税法に基づき申告・納付を行います。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	駐車場財政の健全性を保持するために必要です。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	有料駐車場事業の消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告に関する事務であり、適切に事務を行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001351020 維持管理課予防保全係

事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

電話番号 0566-71-2278

【基本情報】

計画次数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	010	橋りょう維持管理事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	道路法施行規則				
備考					

【事業分析】

対象	道路施設の橋りょうが
目的	道路橋の老朽化への予防的な修繕及び計画的な架け替えにより、係る費用の縮減と道路橋利用者への安全性と信頼性を確保します。
手段	道路橋の定期的な点検と予防的な補修を実施します。
事務内容	点検業務、補修設計・工事

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		38,304	61,206	56,023
事業費	事業費	35,825	56,607	50,840
	国庫支出金	6,215	23,100	15,400
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	29,610	33,507	35,440
	人件費計	2,479	4,599	5,183
	正規（人）	0.37	0.63	0.71
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	橋りょう修繕 N=2橋 、橋りょう点検 N=96 橋、橋りょう工事 N=1 橋	橋りょう修繕 N=1橋 、橋りょう点検 N=10 0橋、橋りょう設計 N= 3橋、橋りょう工事 N= 3橋	橋りょう点検 N=100 橋、橋りょう設計 N=1 橋

事務事業評価シート（2 / 2）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351020 維持管理課予防保全係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
橋の不良により通れなくなった橋数	橋	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
点検する橋数	橋	0.00 96.00	97.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	市が管理する橋梁です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	道路橋としての安全性、信頼性の確保が求められています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	目標どおりの進捗でした。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	予防保全を行うことで事業費の削減になります。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	事業規模は適正です。	

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	老朽化する橋梁の増加に対応するため、予防保全による計画的な修繕を行うことで、橋梁の長寿命化や事業費の削減を図りつつ、引き続き地域の道路網の安全性・信頼性を確保する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業

電話番号 0566-71-2274

【基本情報】

計画次数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	004	生活や産業を支える道路ネットワーク及び快適で利便性の高い公共			
事務事業	011	道路施設管理事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路施設維持管理事業 ・交通安全施設整備事業 ・道路維持修繕直接施工事業 令和3年度の組織改正により、土木課道路安全係から以下の事業を統合しています。 ・生活道路新設改良事業のうち道路側溝等の新設改良 ・通学路整備事業				

【事業分析】

対象	道路施設を通行及び使用する市民が
目的	道路施設の修繕等の維持管理を行うことにより安全で安心して通行できるようになります。
手段	道路施設の維持改良を工事発注及び現業職員による直接作業にて修繕を行います。
事務内容	町内会土木事業要望をもとに道路施設の維持改良工事の設計及び施工管理を行い、かつ現業職員による定期的な道路パトロール及び直接作業により適切な道路管理と街路樹の管理を行います。

【コスト】

(単位：千円)

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		1,311,163	1,105,826	1,008,697
事業費		1,277,663	1,069,326	964,897
	国庫支出金	39,995	40,312	40,000
	県支出金	3,945	1,800	10,500
	地方債	35,000	36,000	36,000
	その他	1,097	1,096	1,445
	一般財源	1,197,626	990,118	876,952
人件費計		33,500	36,500	43,800
	正規（人）	5.00	5.00	6.00
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	(側溝工) L=2,617m (舗装工) A=42,805㎡ (防護柵) L=345m (道路反射鏡) N=27基 (区画線) L=5,771m	(側溝工) L=3,687m (舗装工) A=17,938㎡ (防護柵) L=119m (道路反射鏡) N=23基 (区画線) L=17,986m	(側溝工) L=4,000m (舗装工) A=22,000㎡ (防護柵) L=200m (道路反射鏡) N=40基 (区画線) L=30,000m

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時37分03秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2次評価
所属 0001351030 維持管理課地域整備係
事務事業 02768 道路施設管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
道路瑕疵事故の件数	件	0.00 3.00	0.00 0.00	0.00 0.00
道路施設に対する苦情・情報提供・要望に対する達成割合	%	0.00 97.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	道路施設は管理区分があり、市道部施設の維持管理をしています。		
2	必要性	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	道路施設は管理区分があり、市道部施設の維持管理をしています。		
3	有効性	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標に対する進捗状況		
4	効率性	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事業の効率化・事業費の削減		
5	公平性	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	事業規模・サービス水準		
理由	複数の箇所の工事発注をまとめることにより経費を抑えています。		
理由	限られた事業費の中で計画を立て効率的に整備を進めています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	町内会土木事業要望を基に、良好な道路環境の創出と通行者の安全を図るため、市内の道路施設の整備及び補修、街路樹の管理を進めております。限られた事業費を効率的に活用し、緊急性が高く簡易なものについては現業職員で施工し、大規模なものについては工事発注にて対応します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。